

■2019年10月19日開催・第34回日本ゴマ科学会大会のポスターセッションで、  
共同研究者の日本大学生物資源科学部により、「胡麻の葉中のアクテオシド含量」について発表  
がありました。

\*\*\*\*\*

～下記大会プログラムと発表内容について～

## 第34回日本ゴマ科学会大会

### 講演会プログラム

13:00 開会の挨拶 大会実行委員長 本間香貴

13:05 会長の挨拶 日本ゴマ科学会 会長 吉田元信

#### 特別講演

13:10 日本および海外で発生するゴマの病害について  
宮川久義 ((元) 農研機構西日本農業研究センター企画部産学連携室)

14:00 韓国のゴマ栽培と育種研究の現況と課題  
Sun-Hee Woo (韓国忠北大学校農業生命環境大学)

14:50 植物油の酸化に関する研究について (仮題)  
仲川清隆 (東北大学大学院農学研究科)

15:40～16:00 ポスターセッション (演題 別紙)

#### 一般講演

16:00 ゴマに含まれるカルシウムの形態別定量  
○塩田萌慧<sup>1</sup>, 田代亨<sup>2</sup>, 勝崎裕隆<sup>3</sup>, 三島隆<sup>4</sup>, 八田珠郎<sup>5</sup> ( <sup>1</sup>三重大学・地域イノベーション, <sup>2</sup>千葉大学, <sup>3</sup>三重大学大学院・生物資源, <sup>4</sup>三重大学大学院・生物資源, 千葉科学大学)

16:15 ゴマグリナンとその生合成  
大場 幸江<sup>1</sup>, 東 鋭明<sup>1</sup>, 小埜 栄一郎<sup>2</sup>, 豊永 宏美<sup>2</sup>, 白石 慧<sup>1</sup>, 原田 英里砂<sup>1</sup>, 村田 純<sup>1</sup>,  
○堀川 学<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>公益財団法人サントリー生命科学財団, <sup>2</sup>サントリーグローバルイノベーションセンター株式会社)

16:30 セサモリンが昆虫細胞 S2 に与える影響について

○勝崎裕隆, 成川由希菜 (三重大学大学院生物資源学研究科)

16:45 ゴマオイルボディ形成機構についての考察

濱田聡<sup>1</sup>, 岸川彰宏<sup>1</sup>, ○吉田元信<sup>1, 2</sup> (<sup>1</sup>近畿大学大学院農学研究科, <sup>2</sup>大阪総合保育大学)

17:00 ゴマの生育, 収量および収量構成要素に及ぼす喜界島方式の機械収穫を想定した密植の影響

○道山 弘康・水野 一希・平野 達也 (名城大学)

17:15 「ゴマ機械化プロ」現地実証から見えてきた課題と展望

○田畑茂樹 (三重県農業研究所)

### ポスターセッション演題

各種ゴマ油の酸化安定性と調理への利用—未焙煎ゴマ油を中心に—

○武田珠美・松田万季 (熊本大学教育学部)

エリシター処理により誘導されたゴマ培養細胞中配糖体化酵素の解析

○藤佑志郎<sup>1</sup>, 大槻崇<sup>2</sup>, 明石智義<sup>3</sup>, 松藤寛<sup>2</sup> (<sup>1</sup>日大・生資科, <sup>2</sup>日大・生資科・食生, <sup>3</sup>日大・生資科・応生)

品種の異なるゴマの栽培中の葉中アケテオシド含量の変化

○余田圭人<sup>1</sup>, 宮沢知也<sup>2</sup>, 守屋佳奈<sup>2</sup>, 大槻崇<sup>1</sup>, 藤佑志郎<sup>3</sup>, 松藤寛<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>日大院・生資科, <sup>2</sup>日大・生資科・食生, <sup>3</sup>日大・生資科)